

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-161190

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和62年(1987)7月17日

G 09 G 1/00

7923-5C

1/04

8121-5C

H 04 N 5/067

8523-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑮ 発明の名称 同期信号発生回路

⑯ 特 願 昭61-3283

⑰ 出 願 昭61(1986)1月10日

⑱ 発 明 者 小 口 哲 司 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内  
 ⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号  
 ⑳ 代 理 人 弁理士 井出 直孝

明 細 書

1. 発明の名称

同期信号発生回路

2. 特許請求の範囲

(1) 1フレームをNフィールドで構成し、各フィールドで発生した走査線を互いに重なり合うことなくインタレース走査を行うラスタ走査型陰極線管に供給する水平同期信号を発生する手段と、同じく垂直同期信号を発生する手段とを備えた同期信号発生回路において、

上記垂直同期信号を発生する手段は、

1フィールド期間毎に計数を繰り返し1水平同期周期の $(n-1)/N$ の位置を示す信号( $n$ はフィールドの順番を表す整数で、 $1 \leq n \leq N-1$ )を発生する計数手段(13)と、

水平同期信号を計数することによりフィールドの順番 $n$ を計数し、水平同期信号と同一位相で立ち上がる垂直同期信号の原型信号を発生する分周

器(14)と、

この分周器の計数する $n$ にしたがって上記位置を示す信号を選択する選択手段(16)と、

この選択手段により選択された位置を示す信号にしたがって上記原型信号を遅延させる同期化回路(15)と

を備えたことを特徴とする同期信号発生回路。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、情報処理装置、文字図形表示装置その他のCRT表示装置に利用する。

(概要)

本発明は、インタレース走査を行うラスタ走査型陰極線管に供給する水平同期信号および垂直同期信号を供給する回路において、

水平同期信号と同時に立ち上がる垂直同期信号の原型信号を発生し、これをフィールドの順番にしたがって遅延させて垂直同期信号を発生することにより、